

コード	503020202
記入日	H26.6.5

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	森 太
担当者	立石 克巳

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	体育協会補助事業
----------	----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	503	施策名称	スポーツ・レクリエーションの充実	項コード	6
基本事業コード	50302	基本事業名称	生涯スポーツの振興とスポーツによる交流	目コード	1
事務事業コード	5030202	事務事業名称	競技スポーツの振興事業費	細目コード	991
関連計画		法令・条例規則等	新上五島体育協会会則		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 体育協会加盟団体数	(対象2) 体育協会加盟人数	(対象指標1) 17団体	(対象指標2) 2,083人			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・スポーツの振興のために体育協会へ補助を行った。 →加盟団体数 17団体	***** 補助金交付件数	1件	100%	***** 補助金交付件数÷ 補助金申請件数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	体育協会から補助金の交付申請があり、内容を審査して交付した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
体育協会に補助金を交付することで、住民のスポーツ人口の増大を図り、競技力の向上及び、住民の健康増進を目指す。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 加盟団体数	17団体	100%	***** 加盟団体数÷ 前年度加盟団体数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	加盟団体数及びスポーツ団体加盟人数の確保はできている。			
		***** 加盟人数	2,083人	92.6%	***** 加盟人数÷ 目標加盟人数	***** 平成26年度
		② (達成率分析)	2,250人を一般成人の目標人員と設定している。人口減、高齢化により競技スポーツ人口は減少傾向にあるが、目標数値からすると達成率は高い。			

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	9	9	8	1	1				
	②									
成果指標	① 団体	188	188	171	17	17				
	② 人数	20,250	20,476	18,393	2,250	2,083				
総事業費 C (A+B)	千円	104,628	104,628	94,628	10,000	10,000				
直接事業費 A	千円	69,628	69,628	63,128	6,500	6,500				
人件費 B	千円	35,000	35,000	31,500	3,500	3,500				
内訳	従事職員数	人	5.0	5.0	4.5	0.5	0.5			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	104,628	104,628	94,628	10,000	10,000				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	時代の変化に関係なく、住民の健康づくり・体力づくりの推進は、町として支援していく必要がある。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	17単位協会は活動助成のほか、自主会費を徴収して各種目ごとに協議会を開き、会員数2,083名となっている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理 由	健康づくりは自分のためにするものであり、スポーツも自分のためにする意識を高め、日常活動の中にスポーツを取り入れるよう努めることが、スポーツ人口増につながる。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	17競技団体の内、16競技団体が県民体育大会に参加するなど、各団体において幅広く活動している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理 由	各種スポーツ事業及び各競技団体の育成を兼ねて事務局があり、現在の費用及び事務量は適当である。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	少子高齢化による競技スポーツ人口の減少が進み、会員数が減少傾向にあるので、年齢や体力に応じた競技スポーツの整備が必要。
	今後、課題に向けた改善策	いつでも、だれとでも、どこでも楽しめる競技スポーツを推進し、住民の健康づくりに役立つよう努める。

2 次 評 価	本事業の目的は、体育協会の事業費補助を通してより多くの町民がスポーツに親しむようにすることであり、また、町民がスポーツに親しむことにより身の健全な発達や健康維持も期待されるため必要と判断する。今後、指導者の養成と会員数の増加を図ることが課題であり、体育協会がその大きな役割を担っていることから、地域のスポーツに対する関心と理解、日常中のスポーツ活動の向上に努めること。
----------------------------	--

3次評価	
住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	このまま事業を継続	1次	2次	3次	類似事業と整理統合		
	●	●								
					事業内容を見直して事業を継続					事業の休止
					事業費を見直して事業を継続					事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。